

議会 だより

 **こがし
古河市**

第 **51** 号

平成 29 年 8 月 15 日
編集／議会だより編集委員会
発行／古河市議会
[ホームページ](#)

古河市議会

検索



マルシェでお手伝い！どうぞ、めしあがれ♪（道の駅マルシェ みちまる）

平成 29 年 第 2 回定例会 開催

第 2 回定例会は 6 月 6 日から 6 月 16 日までの会期 11 日間で開かれ、認定 3 件、報告 12 件、議案 7 件について審議しました。

一般質問は 6 月 14 日、15 日の 2 日間行われ 8 名の議員が登壇しました。また、最終日に議員提出議案 1 件が追加されました。請願 3 件については、3 ページの一覧表のとおりとなりました。

平成29年 第2回定例会議決一覧表

議案番号	件名	議決日	議決結果
認定第3号	古河市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定についての専決処分の報告及び承認を求めることについて	29.6.6	承認
認定第4号	古河市税条例の一部を改正する条例の制定についての専決処分の報告及び承認を求めることについて	29.6.6	承認
認定第5号	古河市都市計画税条例の一部を改正する条例の制定についての専決処分の報告及び承認を求めることについて	29.6.6	承認
議案第53号	古河市情報公開条例及び古河市個人情報保護条例の一部改正について	29.6.16	原案可決
議案第54号	古河市収入印紙等購入基金条例の制定について	29.6.16	原案可決
議案第55号	古河市土砂等による土地の埋立て、盛土及びたい積の規制に関する条例の一部改正について	29.6.16	原案可決
議案第56号	古河市企業立地の促進等による地域における産業集積の形成及び活性化に関する法律第10条第1項の規定に基づく準則を定める条例の一部改正について	29.6.16	原案可決
議案第57号	市道の路線廃止について	29.6.16	原案可決
議案第58号	平成29年度古河市一般会計補正予算（第1号）	29.6.16	原案可決
議案第59号	平成29年度古河市国民健康保険特別会計（事業勘定）補正予算（第1号）	29.6.16	原案可決
議員提出 議案第6号	若い人も高齢者も安心できる年金制度を求める意見書	29.6.16	原案可決

※色付き部分は賛否が分かれた案件

請願一覧表

番 号	件 名	提 出 者	審議結果
平成29年 請願第1号	名崎小・三和東中「小中一貫校」(義務教育学校)新設を求める請願	名崎小・三和東中「一貫校」 新設を求める会 会長 染野 則夫 ほか33名	採 択
平成29年 請願第2号	農業者戸別所得補償制度の復活をもとめる請願	茨城県西農民センター 会長 飯田 和夫	継続審査
平成29年 請願第3号	若い人も高齢者も安心できる年金制度を求める請願	全日本年金者組合 古河支部長 坏 道雄 ほか116名	採 択

※色付き部分は賛否が分かれた案件

賛否の分かれた議案等

○賛成、×反対

議案番号	真政会			古河市 公明党				古河維新の会				政策研究会					市民ベース の会		無会派					
	黒川 輝男	鈴木 隆	園部 増治	赤坂 育男	高橋 秀彰	渡辺 松男	佐藤 稔	鶴見久美子	増田 悟	倉持 健一	山腰 進	稲葉 貴大	並木 寛	佐藤 泉	生沼 繁	大島 信夫	渡邊 澄夫	小森谷英雄	秋山 政明	阿久津佳子	長浜 音一	秋庭 繁	落合 康之	四本 博文
認定第4号	○				○				○			○	-			○		○	欠	○	×	○	○	○
認定第5号	○				○				○			○	-			○		○	欠	○	×	○	○	○
平成29年 請願第1号	×				×				○			○	-			○		○	欠	○	×	○	×	×

※議長は表決に加わらないため「-」と表示。

※欠席議員は「欠」と表示。

この人に決まりました！

～茨城県後期高齢者医療広域連合議会議員～

平成29年6月20日に茨城県後期高齢者医療広域連合議会議員の任期が満了となったため、定例会最終日に議会議員選挙が行われ、次の議員が選出されました。

並 木 寛 議員

第2回定例会 一般質問

8名の議員が市政を問う



秋山 政明 議員

小・中学校のプールの維持管理について

問 地域住民から近所の小学校のプールが長年使われていないため異臭がするという相談をいただいた。市内の小・中学校のプールの維持管理（特に使われなくなったプール）や今後のプール授業の在り方について3点問う。①現在のプールの使用割合について②今後の修理計画について③使わなくなったプールの管理について伺う。

答（教育部長） ①市内小中学校全32校のうち、使用している学校は29校で、90.6%となっている。②老朽化による機器の故障等が生じてくるため、財政部局と協議し、修繕計画を立てていきたい。③散水や火災時のため水の利活用に支障のないよう、学校に管理をお願いしている。



古河市の子育て環境について

問 平成27年9月議会で質問した①ファミリー・サポート・センターの利用会員、協力会員

に対する取り組みと会員増減について②病児、病後児の保育についての2点に関して進捗を問う。また当時は増加策として積極的にPR、働きかけをしていくと答弁されたが効果はあったのか？

答（健康福祉部長） ①平成28年度末の利用会員登録は1,317人、協力会員登録は16人となっていて、質問があった時点と比べると減っている。広報活動は行っているが、なかなか増えないのが現状である。②古河市内で体調不良児等の保育を実施しているところは2施設となっている。新設される保育所に対し、体調不良児対応をしていけるよう働きかけていきたい。



生沼 繁 議員

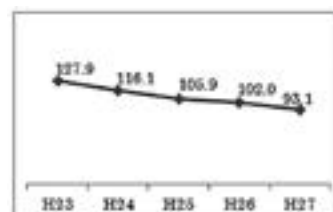
合併特例債について

問 平成17年の1市2町合併により、新生古河市が誕生し、11年が経過した。合併した新市が必要となる事業の経費には、合併特例債が大変有利な借入金であり、対象となる事業として公共施設等の整備・格差の是正・公共施設の統合整備がある。古河市では486.6億円の発行が可能であり、発行残額は、118億円であるが、古河市は被災地で

あり、さらに申請すると5年の延長が可能だが延長するのか。また次の3項目について伺う。①平成28年度までに活用した主な事業と事業費②今後の事業計画③償還計画について

答（市長） 合併特例債発行期限の5年延長については、古河市の活力と住民福祉の向上などを目的に、真に必要な施策を取捨選択し議論を重ね、よりよい対応をとっていきたい。②新市建設計画の実現に向け、将来的に見込まれる事業に対して財政状況や事業の必要性、緊急度等を見極めながら、順次着手し、その実現に向けて最大限の努力をしていきたい。

答（財政部長） ①教育関係で約80億円、道路関係で約158億円、そのほか市の振興を図るための基金の造成に約36億円、道の駅の整備に約14億円の活用実績がある。また、現在取り組んでいる（仮称）三和地域交流センター建設事業にも活用している。③平成28年度末の合併特例債の現在高は約250億円で、今年度約24億円を償還し、ピークが平成30年度で約25億円を償還する。最終償還年度は平成48年度を見込んでいる。



将来負担比率の推移 (%)



佐藤 稔 議員

就学援助の前倒し支給について

問 文部科学省は今回の法改正により、要保護児童生徒の就学援助費について、ランドセル等の入学準備費用を入学前の年度内支給を可能とした。しかし、この措置はあくまでも要保護児童生徒に限ったものであり、準要保護児童生徒は対象外である。法改正の趣旨から考えると、準要保護児童生徒に対しても同様の措置が必要と考えるが、予算措置、支給要綱の改正、周知

方法等について市の考えを伺う。

答（教育部長） 準要保護者への対応については、来年度入学予定者に対し、入学前に支給できるように準備を行いたい。予算については、年度内の補正予算で対応したい。また、認定基準の見直し、要綱の改正も必要であり、対応したい。周知については、個別の郵送や市のホームページで周知を図っていききたい。

デジ教科書の活用について

問 学習障がいや、字を読むことが困難な児童に有効な、デジ教科書の活用を提案するが、市の考えを伺う。

答（教育部長） デジ教科書

は、文字の大きさや音声スピードの調整により、視覚・聴覚的な支援ができ、読むことに課題を抱える児童生徒のための学習支援ツールとして大変有効であると考えます。すべての児童生徒が理解できたと実感できるような学習環境を整えていきたい。



デジ教科書（パソコン画面）

《その他の質問》

・防犯灯LED化の推進と災害対応について



園部 増治 議員

教育長の教育理念について

問 教育基本法では「教育は人格の完成を目指し、平和で民主的な国家及び社会の形成者として必要な資質を備えた心身ともに健康な国民の育成を期して行われなければならない。」とされているが、新教育長の教育理念と古河市の教育に対する考えを伺う。

答（教育長） 古河市にある豊かな自然、歴史と伝統などの地域

素材を教材化して学習に取り組むことで、伝統や文化に立脚した広い視野を持ち、古河市に誇りを感じる児童生徒の育成を心がけたい。また現場の声に耳を傾けながら、一体感のある取り組みを進めていきたい。

都市基盤について

問 ①古河駅東部土地画整理事業については、国・県への働きかけを積極的に行い、事業が加速度的に進められるように願う。②南古河駅については、調査費をつけていただいたが、JRとの協議が円滑に進むよう望む。また、駅用地の確保と周辺整備が課題となるが、丁寧な説明と取り組みをしていただきたい。

答（都市建設部長） ①財源である保留地処分金や国、県の補助金等を最大活用し、事業の早期完了を目指し、計画的な事業執行に努めていきたい。②大堤南部土地画整理事業については、平成8年の都市計画決定後、早期の事業化を目指し取り組んできたが、事業化に至っていない状況である。進めていくにあたり、地元の皆さまのご理解、ご協力が不可欠であると考えており、今後合意形成をどのように進めていくべきか区長に相談を始めたところである。



南古河駅予定地付近



秋庭 繁 議員

窓口負担なしの医療費無料化について

問 医療費の窓口負担なしの無料化をいつ実施するのか。市長選挙の公約であり、早急に具体化すべきだ。合わせて、臨時・非正規職員、特に保育士の正職員化、待遇改善をすべきだ。

答（市長） 医療費無料化については、必要経費の検証、財源の確保に努め、実施については、関係機関と調整し、わかりやすい制度設計を基本に、総合的に

検討を重ね、早急に行いたい。

答（総務部長兼危機管理監） 臨時・非常勤職員の処遇については、国の指針をもとに規定等を整備していく予定である。

就学援助費の年度内支給について

問 国（文科省）の指示で、援助金の増額（倍額）と年度内支給が決まった。すでに、他市で実施していたことが、なぜ古河市は出来なかったのか。

答（教育部長） 古河市就学援助費支給事務取扱要綱において定められている条件の場合、4月以前の入学前の支給は困難であった。今年度は、国の改正を踏まえ要綱の見直しを行っていききたい。

交通安全について

問 信号機設置は県の予算だが、県議が3人いて、信号機ひとつがつかないのは問題である。職員任せにせず、市長自ら県に働きかけるべきだ。

答（市長） 県への人脈を生かし、また、古河警察署へ古河市の要望を行っていききたい。

答（生活安全部長） 古河市では毎年6月に古河警察署長へ要望書を提出している。今後も引き続き、要望を行っていききたい。



信号機がなく危険な交差点



落合 康之 議員

公共交通の在り方について

問 高齢者ドライバーの重大事故が気にかかる。古河市の高齢者の免許保有率と免許返納率はどうか。ぐるりん号および既存の路線バスの利用状況、またこれらに対する公金の支出状況、そして公共交通利用者数向上の取り組みはどうか。

答（生活安全部長） 平成28年度末の免許保有率は約60%、約2万3,000人で、免許返納率は約

1%、200人弱となっている。

答（総務部長兼危機管理監） 平成28年度の利用者数はぐるりん号が計13万9,874人、民間路線バスが計50万7,737人となっている。公金の支出状況はぐるりん号に4,076万2,714円、民間路線バスに469万4,226円となっている。利用向上の取り組みとして、冊子の全戸配布を初め、駅構内でのティッシュの配布等を行っている。



ぐるりん号

再質問 高齢者がスマホやパソ

コンを駆使して古河市が発信する情報を受け取れるのかも考えてあげなくてはならない。ぐるりん号の一日の利用料金が平均すると約3万円と伺っているので、PRするのにティッシュを配るのも3万円くらい製作費がかかると思う。国交省に聞いてみたら違法ではないということなので、無料で体験いただく日を設けてみてはどうだろうか。

答（市長） 周知するには効果的な案と思われるので、古河市公共交通活性化会議に諮り、準備を進めていきたい。

《その他の質問》

- ・県立文化ホール誘致について
- ・仁連地区新産業用地取得について

会派の活動を報告します

真政会

5月25～26日の2日間、北海道士幌町で開催された「第25回環境自治体会議」に参加した。環境政策に取り組んでいる全国の自治体から約500名の参加があった。今年のテーマは「生産地と消費地の連携による接続可能な地域づくり」であった。全体会議では、発足以来25年間の取り組みと関係自治体の関わりについて話し合われた。また、分科会は「士幌に学ぶ地産地消」に参加した。町内のバイオガスプラント施設、自動搾乳施設、道の駅やヌプカの里などを視察した。改めて北海道の広大さを

感じたことと、環境に配慮した取り組みをしていることに感銘した。

また、6月15日には現在市で取り組んでいる懸案事項について市内視察研修を行った。

①上辺見保育所移転予定地（日赤跡地）

60名の定員増は、待機児童解消につながるものと思われる。

②仁連地区新産業用地開発地区
日野自動車から1km圏内にあるため、日野自動車関連企業の誘致が期待される。

③学校給食センター

施設見学の後、センター職員からドライ方式によるセンターの概要について説明があった。食材の調達や残渣^{ざんさ}の処理、食中

毒対策、アレルギー食について質問をした。

④古河駅西口地区、中央町広場
消防署の配置計画がある中央町広場を視察した。入口が狭いので拡幅整備をして安全に出入りが出来るようにすることが課題である。消防、防火体制の強化につながるものと思われる。



中央町広場視察

黒川 輝男 鈴木 隆
園部 増治 赤坂 育男

古河市公明党

古河市公明党は、6月13日、本年1月に施行された「古河市動物の愛護及び管理に関する条例（動物愛護条例）」について担当部局の環境課担当者^と動物愛護団体「NPO法人OneLife（小さな命）」の皆さんとの意見交換を行いました。条例制定の背景は、市内の犬猫に関する苦情が、平成27年度は180件あった事、また県の殺処分件数が平成26年度で全国ワースト2位である事があり、人と動物の調和のとれた共生社会の推進を目指し制定されたものです。古河市公明党はこれまでも、犬猫

不妊手術費用の補助制度や犬の飼い主マナー向上を目的に「愛犬カード（ワンカ）」の交付事業などを推進してまいりました。そして今回、市や市民および飼い主の責務を明らかにするとともに、殺処分0を目指し、犬猫の無責任な飼い方を無くすための条例制定を推進しました。意見交換会では、古河市内で放置される犬猫の状況や、迷子の犬猫の探し方などさまざまな角度から意見をお聞きする事ができました。その中で、犬猫の迷子対策として「マイクロチップ」の有効性が話題になりました。動物愛護管理法では、マイクロチップの装着などを行うべきと定めていますが、普及率は7.8%

と低いのが現状です。マイクロチップには15桁の数字が記録されており、この数字を読み取る事で、身元を確認する事ができます。今後は、マイクロチップの普及も含め、ペットと飼い主、そして近隣社会との調和のとれた共生社会を目指し、引き続き取り組んでまいります。



意見交換をする古河市公明党
高橋 秀彰 渡辺 松男
佐藤 稔 靄見久美子

会派の活動を報告します

古河維新の会

古河維新の会は5月25日から26日の2日間、第25回環境自治体会議「しほろ会議」に参加した。

25日のパネルディスカッションは、25周年記念「わがまちの取り組み四半世紀と環境自治体会議との関わり」について。論点提起はメインテーマの紹介と今回会議の目指すものについてで、コーディネーターは法政大学社会学部教授、田中充氏をはじめパネリストは北海道士幌町長他2名の方の講演だった。

第1分科会では自立循環型地域づくり、環境に配慮した生産

活動や資源循環に不可欠な「人づくり」を考えた。人づくりによって環境保全型農業を実現した例などを取り上げ人材育成（ESD）や自立循環型地域づくりの新しい方向性や教育を通じた人づくり、上士幌学園構想等について学んだ。

また昨年10月6、7日に岡山市で開催された第78回全国都市問題会議に参加した。人が集いめぐるまちづくりや人口減少社会における都市の活力創出について学んだ。

また新年度予算にける会派の意見としては、消防団員家族への功労報償金や市民からの一番の要望である道路の改修について大幅な減額であることは改善

すべきと考える。古河市は合併12周年目となり日野自動車古河工場がことし1月から本格稼働となり、これを機に関連企業の誘致や市内の雇用、若者の定住促進への支援などをすすめていくなかで、これからも市民の目線で頑張りたい。



会長 増田 悟
副会長 倉持 健一
幹事長 山腰 進
会計 稲葉 貴大

政策研究会

会長 並木 寛
副会長兼幹事長 生沼 繁
会計 大島 信夫



市政同志会

会長 渡邊 澄夫
副会長 小森谷英雄
幹事長兼会計 佐藤 泉



～会派の変更がありました～

■平成29年6月16日付け

【旧】政策研究会（6名）
⇒ 【新】政策研究会（3名） ・ 市政同志会（3名）

■平成29年7月12日付け

【旧】政策研究会（3名） ・ 市民ベースの会（3名）
⇒ 【新】政研・市民ベースの会（6名）

会派の活動を報告します

市民ベースの会

当会派は「もっと市民を中心に、市民と一緒に活動を行える会派にしたい」という思いから設立しました。

昨年12月に設立以降、さまざまな場で政策について議論を交わしています。

各メンバーが、教育や子育て、障がい福祉といった分野にそれぞれ強みを持ち、お互いが学び合う風土の中で、さまざまな分野について研究を行っています。

これまでに、科学教室では、たくさん子ども達と科学を通じて、主体的に学ぶことの楽し

さや科学の可能性について触れ合う機会をつくってきました。また発達障がいに関しては、子ども達の親と学ぶ発達障がいセミナーを開催し、東京未来大学こどもみらい園の元副園長の平林先生にお越しいただき、80名以上の保護者と子ども達、現場で働く専門職の方々と一緒に学びあえる活動を実施しました。

日々さまざまな活動を通じて、調査研究を行っていることが、議会での一般質問や討論、常任委員会での発言数の多さにつながっていると考えています。

今後も各メンバーの得意分野を生かしながらセミナーや市政報告会を通じて、共に学び、み

なさんの意見を古河市の行政に生かす活動を行いたいと考えています。

設立の思いを軸足に、「市民ベース」だからできる独自の活動を展開していきたいと考えています。



会長 秋山 政明
副会長兼幹事長 阿久津佳子
顧問兼会計 長浜 音一

会派に属さない議員

市議会が閉会后、講演会や労組、民主団体等の集会等で、古

河市側（市長）の議案に対する審議経過およびその議案に対する日本共産党の態度等を報告し、懇談等を行っています。

（秋庭 繁）



毎月恒例の市政報告懇談会

会派に属さない議員

障がい者や高齢者が安心して住み続けられる街づくりに向け

今夏、公共交通や社会福祉向上のための研修に参加します。また地域の安全のため毎朝防犯パトロールを行い児童の登校を見守っています。（落合 康之）



会派に属さない議員

超高齢化社会のなかであって古河市の前期高齢者納付金が異

常な伸び率になっている現状であって、今後は向こう10年先まで見すえたデータの収集と管理運営のあり方を研鑽する必要があります。病院等のカルテから

割り出しができるので、データの分析を元に、2025年の危機的状況（高齢者率の頂上）に対応するために現状から認識する必要があります。（四本 博文）

議会報告会を開催しました

～市民に身近で開かれた議会づくりを目指して～

5月20日、古河中央公民館大ホールにおいて、初めての議会報告会を開催しました。この議会報告会は、古河市議会基本条例に基づき、「市民に身近で開かれた議会づくり」を進めるために、市民との情報や意見交換の場として開催されたものであり、当日は103名の市民の参加を得て、議会報告に対する質疑や意見交換などが活発に行われました。



議会報告会の様子

◆◆◆◆議会報告会プログラム（内容）◆◆◆◆◆◆◆◆

1. 議会の概要について
 2. 議会改革の取り組みについて
 3. 平成29年第1回定例会の審議結果の報告について
(各常任委員会・予算特別委員会報告)
- 意見交換会（議会改革・市政について）



意見交換会の様子

今回の議会報告会は、初めての取り組みとなりましたが、参加した市民からは「また参加したい」という意見が多く寄せられており、市民との情報や意見交換を行う重要な場として、継続して開催していきたいと考えています。

(議会報告会作業チームリーダー)

参加者アンケートの主な意見

問 報告会の内容はいかがでしたか。

	人数	%
わかりやすかった	56	62.92%
わかりにくかった	4	4.49%
どちらとも言えない	19	21.35%
その他	3	3.37%
未記入	7	7.87%
計	89	

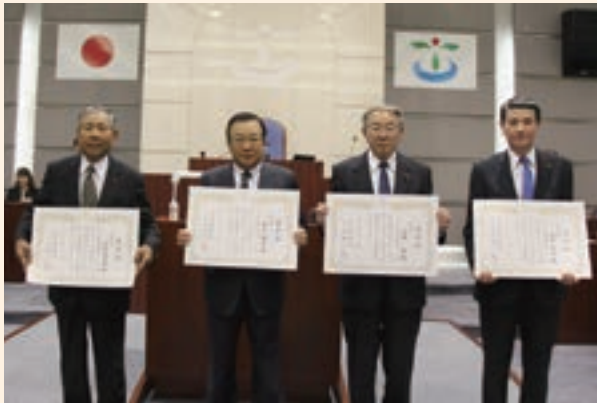
問 また参加したいですか。

	人数	%
参加したい	73	82.02%
参加したくない	4	4.49%
どちらとも言えない	1	1.12%
その他	2	2.25%
未記入	9	10.11%
計	89	

ご参加ありがとうございました！！

議員表彰

永年、市議会議員として地方自治の振興発展に寄与した功績が認められ、全国市議会議長会より4名の議員、茨城県市議会議長会より3名の議員が表彰されました。



全国市議会議長会

《議員在職20年表彰》

小森谷 英雄 議員 黒川 輝男 議員

《議員在職10年表彰》

佐藤 稔 議員 高橋 秀彰 議員



茨城県市議会議長会

《議員在職20年表彰》

小森谷 英雄 議員 黒川 輝男 議員

《議員在職8年表彰》

生沼 繁 議員

◆◆◆ 平成29年第3回定例会の会期予定 ◆◆◆

月日	会議	内容
8月31日(木)	本会議	開会、議案の説明
9月1日(金)	休会	議案調査
9月4日(月)	本会議	質疑、議案の委員会付託
9月5日(火)	常任委員会	総務常任委員会、産業建設常任委員会
9月6日(水)	常任委員会	文教厚生常任委員会
9月7日(木)	特別委員会	決算特別委員会
9月8日(金)	特別委員会	決算特別委員会
9月11日(月)	特別委員会	決算特別委員会
9月12日(火)	本会議	一般質問
9月13日(水)	本会議	一般質問
9月14日(木)	本会議	一般質問
9月15日(金)	本会議	委員長報告、質疑、討論、採決、閉会

- 時間は午前10時からの開催予定です。
- 産業建設常任委員会は午前10時15分からの開催予定です。
- ※変更される場合もありますので議会事務局までお問い合わせください。

編集後記

第2回定例会は上程議案も少なく、一般質問をする議員も少なかったため議会だよりのページ数も少なくなりましたが、議会はしっかりとやっております。

議会改革も進みいろいろな形で市民の皆さまにも議会を知っていただく手法も増えてまいりました。市内全戸配布である議会だよりも今後さらに読みやすい紙面作りを目指してまいります。

委員長 稲葉 貴大

第2回定例会の傍聴者数

議場コンサート	30人
本会議	34人
委員会	8人
合計	72人

※傍聴者数は延べ人数

議会の様子を見てみよう！
古河市議会ホームページ、または下記QRコードからご覧になれます。

古河市議会

QRコード



【議会だより編集委員会】

委員長 稲葉 貴大
副委員長 渡辺 松男
委員 秋山 政明 大島 信夫
園部 増治 渡邊 澄夫

古河市議会事務局
古河市長谷町38番18号
☎ 0280-22-5111 (代)



環境にやさしい植物油インキを使用しています